



自衛官ってどんな人達？



陸上自衛隊の役割

陸上自衛隊は、主として陸上において行動し、国土防衛の最終的な力として、地形を活用しながら強大な火力と機動力を発揮し、侵攻してくる敵をわが国の領土から排除することを主な役割としています。

また大規模・特殊災害、国際平和協力活動、国際緊急援助活動等に派遣され、各種の重要な役割を担っています。

陸上自衛隊の機能

現在の陸上自衛隊は陸上総隊司令官指揮の下、5つの方面隊（北部方面隊、東北方面隊、東部方面隊、中部方面隊、西部方面隊）が並立し、各方面総監が担当区域の防衛・警備・災害派遣等を行っています。

陸上総隊の役割

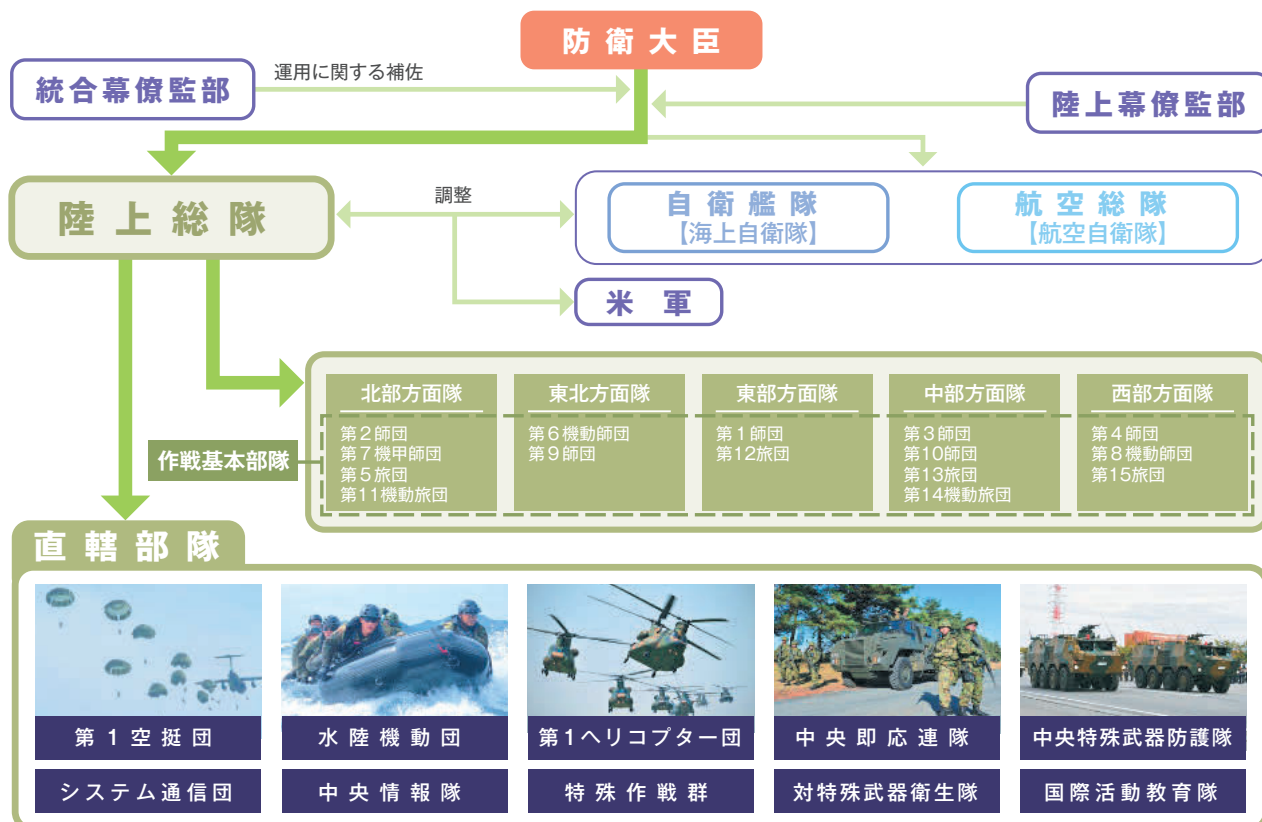
防衛省・自衛隊ホームページより

わが国を取り巻く安全保障環境の変化を踏まえ、統合運用の下、下図に掲載の作戦基本部隊（各師団、旅団）などの迅速・柔軟な全国的運用を可能にするため、平成30年3月に陸上総隊が新編されました。

陸上総隊司令官は、平素から運用に係る事項に関し方面隊等を指揮し、陸上自衛隊の部隊運用を一体的に担うことになりました。

また、陸上総隊司令部は、統合幕僚監部、自衛艦隊司令部、航空総隊司令部および米軍との間における平素から事態対処時までの運用等に係る調整を一元的に実施します。

これにより、迅速かつ円滑な部隊運用および調整が可能となり、総合運用の実効性向上に寄与しています。



宇都宮駐屯地



宇都宮駐屯地は、1950年（昭和25年）警察予備隊創設とともに開設されました。今日まで幾多の部隊改編などを経て、東部方面特科連隊第2大隊、中央即応連隊、第307施設隊及び駐屯地業務隊などの諸隊が所在しています。

宇都宮駐屯地には、国内の防衛警備及び災害派遣任務を主要な任務とする部隊が所在する他、国際任務を専門とする中央即応連隊が所在しており、それぞれの部隊が国内外における重要な役割を担っています。

所属部隊

東部方面特科連隊

第2特科大隊

DW25取材部隊

中央即応連隊

DW25取材部隊

第一施設団

第307施設隊

DW25取材部隊

東部方面会計隊

第334会計隊

DW25取材部隊

宇都宮駐屯地業務隊

東部方面後方支援隊

第102施設直接支援大隊

DW25取材部隊

東部方面後方支援隊

第306特科直接支援中隊

DW25取材部隊

東部方面システム通信群 第105基地システム通信大隊

第317基地通信中隊宇都宮派遣隊

DW25取材部隊

広報担当の紹介

宇都宮駐屯地駐屯地広報室では、みなさんに宇都宮駐屯地の活動への理解を深めてもらうため日々広報活動を行っています。駐屯地には防衛資料館を併設して旧陸軍の貴重な資料を展示しています。どなたでも来館いただけますのでお近くにお越しの際は、お立ち寄りください。

また、イベント情報などをホームページ及びSNSで発信していますのでフォローをお願いします。



写真左から

2等陸曹

安藤 武志

陸曹長

高松 俊夫

2等陸尉

塩田 恵一

1等陸曹

伊藤 淳子

2等陸曹

矢澤 治

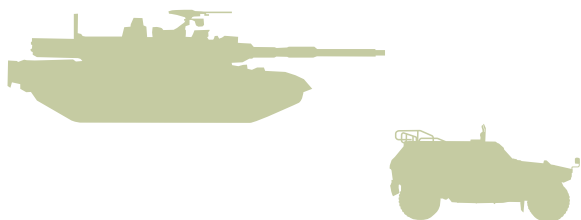
さまざまな情報をお届けしています。



X



ホームページ



中央即応連隊



1
等
陸
尉

程田 和光 28歳

職 名 運用訓練幹部、普通科(レンジャー、基本降下)
採用種目 一般幹部候補生
出 身 千葉県(巣鴨高校)

最終学歴は防衛大学校。大学受験で学校選びをする際に国防に関心を抱き、この大学を選びました。その流れで入隊、現在に至ります。私の職務である運用訓練は、自衛隊内で行われる各種の訓練の計画作成、そして運用を行います。部隊ごとに訓練内容は異なり、さらに大勢を率いての訓練計画は時間も労力もかかります。定期異動の時期には、後任への引き継ぎと同時に、新たな部隊の訓練を受け継ぎながら訓練計画を立てます。過去には兵棋演習という訓練で、徹夜をして計画作成をしたことも。経験の浅い幹部ということもあり、苦勞することもあります。訓練の成果が自衛隊の強さになるため、達成感のある仕事だと感じています。これからも「日々挑戦」「日々成長」をモットーに、日々の業務に励みます。



3
等
陸
曹

施設中隊
神谷 桃香 29歳

職 名 中級施設機械操作、施設科・ドーザー操縦
採用種目 一般曹候補生
出 身 長野県(諏訪二葉高校)

体力には自信のあった私。就職先には体を使う仕事が向いていると感じ、自衛官を選びました。担当しているのは、ドーザーと呼ばれる重機の操縦。訓練での陣地構築や、基地内の道路工事や構築、補修に携わっています。災害派遣や国際任務で活躍するドーザー操縦手にあこがれて本職務を希望しました。しかし、訓練は想像以上にハードで、ときには心が折れかけてしまうことも。それでも、訓練を通して国防に携わっていることを実感すると「この職種を選んで良かった」と感じます。出身も年齢も異なる人との交流も楽しく、充実した毎日を過ごしています。これからも機械操作の腕を上げて、いつかは国際貢献の場で活躍したいです。



東部方面後方支援隊



陸
士
長

第306特科直接支援中隊 第2直接支援小隊
新井 凱 21歳

職 名 装輪車整備士、武器科・装輪車整備
採用種目 自衛官候補生
出 身 栃木県(足利工業高校)

高校2年の時に、インターンシップで自衛隊を訪れる機会がありました。そこで興味を持ち、現役自衛官の知人に背中を押されて入隊を決めました。工業高校卒だったので、整備関連の業務が向いていると考えて現職を選択。現在は特大型トラックと呼ばれる車両整備を担当しています。普通車に比べると部品も大きく、何より重い。さらに構造が複雑で、作業工程の大変さを感じると同時に、整備士として日々満足感を得ています。苦勞した点は寮生活。他人との共同生活に慣れるまで時間がかかりましたが、協調性を持つことができ、コミュニケーションの大切さも実感することができました。今後の目標は、教育課程を修了し、一人前の陸曹になること。昨年生まれた息子から憧れられるような隊員になりたいです。



東部方面特科連隊

3
等
陸
尉第2大隊 第5中隊
岩下 由貴那 24歳

職 名 前進観測班長、訓練幹部
採用種目 一般幹部候補生
出 身 東京都(長崎大学)

大学卒業後は企業勤めを考えていました。しかし、利益獲得の有無よりも人の助けになれる事業の方が自分には向いていると考え、入隊を決意しました。現在は榴弾砲を取り扱う前進観測班長として活動。射弾訓練だけでなく、弾先を目標に近づけるための訓練や、射弾観測の指導をしています。野外訓練では重要なポジションとなるため、常に緊張感のある状態ですが、中隊長からの信頼を獲得できたときは充実した気持ちになりました。大学で国際科を専攻していたので、海外勤務に興味があります。学生時代にヨルダンの難民キャンプに参加したこともあります。この経験を生かし、将来は海外というフィールドで幅広い人と関わり、人々の力になれるような仕事ができればと考えています。

2
等
陸
曹第2大隊 第5中隊
川上 圭太 30歳

職 名 訓練陸曹、レンジャー
採用種目 自衛官候補生
出 身 栃木県(青藍泰斗高校)

学生時代に野球部に所属。そこで自衛隊地方協力本部の方に声をかけられました。部隊が保有するFH70という榴弾砲を扱い、日々訓練を重ねています。取り扱う弾丸は巨大で、しかも重いので、基本は力作業です。同時に体力と持久力も求められるため、訓練内容は過酷を極めます。常に自分との戦いで、ときには無力さを実感することもあります。多くの達成感を味わうこともできます。また、仲間と喜びを分かち合う瞬間は、何ものにも代えがたいものがあります。私のように過酷な部隊もある一方、自衛隊には職務キャリアの選択肢がたくさんあります。そして自身の努力次第では、選択する道へ進みやすい環境なので、興味のある人はぜひ入隊を考えてみてください。



第102施設直接支援大隊

2
等
陸
曹第2直接支援隊
柳原 直美 44歳

職 名 人事陸曹、システム通信科・上級ネットワーク
採用種目 自衛官候補生
出 身 北海道(中標津高校)

私の母方の親戚が神戸に住んでいます。中学生の時に阪神・淡路大震災が起り、見慣れた街の崩壊にショックを受け、何か助けになれる仕事がしたいと思い入隊を決意しました。日頃は隊員の人事に関わる業務を担当しています。2024年1月に起きた能登半島地震では災害派遣に携わりました。女性風呂の運営は女性隊員が担当するため、微力ながら力になって良かったと思いました。自衛官になって気づいたことは、制度が充実していること。子育てをしながら勤務ができるので、安心できる環境だと思います。ただし、年齢問わず負荷のかかる訓練は必須。それでも体力の維持につながるため、健康的な日々を過ごすことができます。これからも仕事と家庭を両立しながら、働きやすい職場作りにも尽力していきたいです。



第307施設隊

2
等
陸
曹

渡邊 武彦 43歳

職 名 器材班長兼後方陸曹、上級施設
採用種目 自衛官候補生
出 身 山梨県(富士学苑高校)

地元が静岡にある基地に近く、幼い頃から総合演習を見て育ってきました。自衛官のたくましい姿に惹かれて、入隊を決めました。私が所属する施設隊では、地雷原処理車の操作が主な任務。施設科特有の機械の操作手として、ときには災害派遣の任務を遂行することもあります。実際に2018年の西日本豪雨災害では岡山県に赴き、被災した家財除去に携わりました。かつて人々が生活していた場所の撤去作業は心苦しく、辛い気持ちで作業をこなしていた日々は忘れることができません。それでも、被災者の方々から感謝の言葉を受けたときは、自分の仕事に誇りを持つことができました。今は現場で活動していますが、近い将来は後輩育成に力を注ぎたいと考えています。そして定年まで職務を全うしたいです。



第334会計隊

3
等
陸
曹

片山 留奈子 26歳

職 名 旅費係兼債権係
採用種目 自衛官候補生
出 身 栃木県(鹿沼商工高校)

ひとり親家庭環境で、高校卒業後は就職して母の力になりたいと思っていました。長年柔道部に所属していたので、自衛官が向いていると思い入隊。現在は、自衛官の出張費や引越し代などに関する仕事を担当しています。体力とは無関係の職に就くことになりましたが、全国各地の自衛官をサポートする業務は、自分の性分に合っていると感じています。また、外部の人との接点も多く、私たちの職務に感謝の気持ちを伝えてもらうことも。普段は内勤の仕事ですが、2024年、能登半島地震の災害派遣において、女性風呂の運営に携わっている女性隊員を見て、私も困っている方々の「力」になりたいと思いました。今後は会計のエキスパートを目指しつつ、自衛官として必要な「地力」を磨いていきたいです。



第317基地通信中隊宇都宮派遣隊

3
等
陸
曹

今井 啓太郎 24歳

職 名 ネットワーク運営陸曹
採用種目 一般曹候補生
出 身 栃木県(宇都宮商業高校(中退))

18歳になったら自立する。そう決めた日から数ある職種を探り、一番自分に合っていると感じた自衛隊に入隊しました。当初は野外通信部隊を希望していましたが、入隊のタイミングで足を怪我したため、基地通信部隊への配属に。慣れない機材の取り扱いに戸惑うこともありましたが、今ではすっかり虜になってしまいました。基地内の電話機の設置やパラボラアンテナの管理を通して隊員の力となっていることも、仕事に対するやり甲斐を高めてくれます。さらに入隊前はコンプレックスだった体型も、日々の訓練で健康的な体を手に入れることもできました。そして努力次第では大きな部隊に異動して、全国各地を巡ることもできます。今後もチャレンジ精神を忘れず、システム通信科隊員として成長していきたいです。



自衛隊栃木地方協力本部

自衛隊栃木地方協力本部が配置されている栃木県は、昭和43年(1968年)以降、いちごの収穫量全国1位を誇る「いちご王国」です。栃木県が開発した品種「とちおとめ」は全国の作付け面積の3割を占めており、近年は新品種「とちあいか」が誕生しています。栃木地本公式キャラクターはそのいちごと日光東照宮の3猿のコラボで生まれました。末永く親しんで頂きたいと思います。

自衛隊栃木地方協力本部は、自衛官の募集をはじめ、広報活動、予備自衛官・即応予備自衛官の管理、退職自衛官の再就職のサポートまでの、「自衛隊の入口から出口まで」を担っています。

自衛隊栃木地方協力本部は、令和6年度に宇都宮市内の商店街を活用した広報イベントのグリーンフェスタ2024や募集対象者に対する航空自衛隊百里基地における航空学生説明会、SNS等を利用した募集広報として関東バスへのラッピングを実施しました。それぞれの募集広報において募集対象者だけではなく、県内に住む方に対し自衛隊のアピールをすることが出来ています。自衛隊栃木地方協力本部は、今後現状を是としない創意工夫施策により、各種目標の達成に貢献できるよう努めて参ります。

①



②



③



④



- ① 栃木地本公式キャラクター (とちまも3兄弟)
- ② 栃木県内の商店街を活用した広報イベント(グリーンフェスタ2024)
- ③ 募集対象者に対する部隊研修(百里基地における航空学生説明会)
- ④ SNS等を利用した募集広報(関東バスラッピング)

DATA

自衛隊栃木地方協力本部

■ 住所 栃木県宇都宮市桜5-1-13
■ 電話 028-634-3385

■ HP <https://www.mod.go.jp>
■ X https://www.x.com/@tochigi_pco
■ Instagram https://www.instagram.com/@tochigi_pco

広報官の声

明るい未来へ向かうための架け橋である広報官としての心構え

海曹長 川中子 裕紀 45歳

皆さん、初めまして。栃木地方協力本部宇都宮募集案内所の川中子と申します。現在広報官として4年目の勤務になります。少子化、進学率の向上、民間企業との競争もあり、厳しい募集状況の今日であります。日々募集活動に奮闘をしております。

広報官の仕事は、様々な部外の方に対し自衛隊の魅力について熱意を持って伝え、将来国防という崇高な職務を担う方達を後押しする重要な職務だと考えております。そして一般の人達の中には私が初めて接する自衛官という方もおります。そのため自衛官の前に一社会人として人間力を常に高めることを心掛けております。

現在、職業としての自衛官を考えた場合、不安や疑問等を抱いている方はたくさんいらっしゃいます。時には、悩みを聞いて一緒に問題点を解決したり、家族のように思いやりを持って接することで信頼関係を築きあげ、自衛官としてのやりがいや魅力を理解してもらい、将来への不安を払しょくしております。

世の中に数多くある仕事の中で分かりにくい仕事の1つが自衛官だと思います。しかし、その中身を覗いてもらえれば、多くの魅力にあふれ、誰でも輝ける場所がある素晴らしい仕事だと必ず分かってもらえるはずです。

現在、自衛官を目指しているまた将来のお仕事で悩まれている方、ぜひ安心して自衛隊に飛び込んでみてください。その時は、必ず私達広報官が寄り添い、皆さんの将来への第1歩をお手伝いさせていただきます。

